

# 令和7年度 日野第四中学校 校内研究

## 校内研究レポート①

4月28日(月) 5校時(1学年) 6校時(2学年)  
総合的な学習の時間 「探究学習のガイダンス」  
講師：シム・チュン・キャット先生(昭和女子大学教授)

今年度の総合的な学習の時間では、1学年「福祉」、2学年「職業」、3学年「国際理解」をテーマに、生徒が自分の興味関心の中から課題を設定し、情報の収集や整理分析等、探究的な学習過程を通して学びを深めることに取り組んでいます。

本時では、昭和女子大学教授のシム先生を授業の講師に招き、1年生と2年生にそれぞれ1時間ずつ、テーマに合わせて授業を行っていただきました。シム先生の出身であるシンガポールと日本の教育の違い、探究学習がなぜ必要か、探究学習はどのように進めていけばよいか等、生徒に分かりやすく講義をしていただきました。

### 〈講義の内容の一部紹介〉

- シンガポールは小さい国だが、アイデアを工夫して豊かな国を作ってきた。シンガポールでは小さいころからアイデアを作ることを学校で学ぶ。10年後、20年後の将来の日本を考えていきますか？
- シンガポールの高校生はすべての教科で Project Work (協働学習) を行う。人は一人では生きていけない。協力しなければ生きていけない。いろいろな人と協力する経験が必要。
- 「探究」とは、物事の真相・価値・在り方などを深く考えて筋道を辿って明らかにすること。  
→良い、悪いという価値も含めて、グループで協力して自分の考えを明らかにして欲しい。
- 「？」や「！」がある人生は楽しい人生。「なぜ？」は探究のスタート。教えてもらうのではなく、自分で調べて考える。「？」を「！（なるほど！）」に変えていく経験をして欲しい。楽しみながら学べたら最高。
- 調査活動の基本原則のキーワードは「リスペクト」。調査対象者の人権とプライバシーを尊重する。基本的に実名は出さない。調査の目的等を明確に伝え、調査に協力するかどうかは自由意志とする。(協力の) 圧をかけてはいけない。

### 〈質疑応答の一部 Q：生徒 A：シム先生〉

Q：興味もてるテーマが決まらない時には？

A：〇行き詰まったら図書館に行こう！図書館には偶然の出会いがある。

シンガポールを調べに行ったけど、隣にあったマレーシアの本に興味をもつかもれない。漫画や雑誌も情報として活用できる。

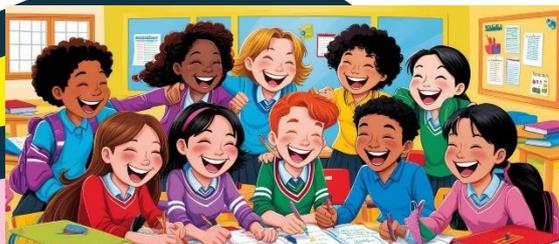
〇比較してみるのも良い。地域差、男女差、時代の差、学力差…。なぜ差があるのか？調べてみて差がない場合には、なぜ差がないのか？

Q：なぜ、シンガポールの教育は世界で1位なのか？

A：教科書の違いなど調べるとおもしろい。ぜひ調べて私に教えて！

Q：インターネットで検索しても良いか？Wikipediaを使っても良いか？

A：インターネットで正しい情報はだいたい5割。いくつかのサイトを比較したり、情報の基となる引用先をたどっていく。一番良いのは論文。Wikipediaはあくまで参考とする。



### 研究構想のイメージ

探究的な学び・協働的な学びで育む  
多様性の理解と生徒の Well being

(この画像は生成 AI で作成したイメージです)

令和7年度校内研究テーマ

『生徒の主体的な学びを推進する対話と相互作用のデザイン』  
～探究学習における『協働的な学び』の深化～

日野市立日野第四中学校

住所：日野市旭が丘 2-42 TEL 042-583-3905

校長：小島幸子

副校長：仙波貴臣

研究主任：篠原友樹